

「点鼻」インフルエンザワクチンをはじめます



点鼻（鼻に噴霧する）タイプのインフルエンザワクチンが、今年から使用できるようになりました。

左右に1回ずつ、計2回噴霧します。対象者は2歳～18歳です。妊婦、免疫不全患者、ゼラチンアレルギーのある人には使えません。喘息の患者さん、授乳している方、周囲に免疫不全患者さんがいる場合には注射のタイプをお勧めします。

効果は注射と同様とされています。副反応としては、鼻水、鼻づまり、咳、口やのどの痛みが主なものです。まれにアナフィラキシーショックもありうるとされています。（この点は他のワクチンと同様です。）

メリットは痛いことをしなくてすむこと、1回ですむことです。日本では今年初めて認可されたものであり、有効性・副反応などはっきりしないことはありますが、痛い注射がとても苦手な子どもには、いいと思われます。ほかのワクチンとの同時接種も可能です。

数に限りがありますので、なくなり次第終了とします。